

教育研究評議会議事要旨

日時	平成16年 5月11日(火) 13:30~16:05
場所	事務局大会議室
出席者	遠藤(学長・議長), 大関, 中澤, 久慈, 藁科, 佐藤(三), 兼子, 南條, 豊川, 山寺, 丹野, 矢島, 石堂, 星野, 佐藤(敬), 佐々木(甚), 宮田, 荒川, 加藤, 佐々木(大), 佐々木(睦), 工藤, 相川, 片野の各評議員
陪席者	昆理事, 永井監事
事務局	渡邊総務部長, 吉田総務課長, 松井教務課長, 岡本学生課長, 川村施設企画課長他

配付資料

- 資料(事前配付) 教育研究評議会議事要旨(案)(4月13日開催分)
- 資料1 平成16年度年度計画(案)
- 資料2 弘前大学教員人事に関する申合せ(案)
- 資料3 弘前大学教員人事管理(案)
- 資料4 弘前大学21世紀教育センター規程新旧対照表
- 資料5 21世紀教育センター高等教育研究開発室教員選考委員会に関する申合せ(案)
- 資料6 弘前大学名誉教授称号授与規程
- 資料7 名誉教授候補者名簿
- 資料8 - 1 ~ 8 - 8 履歴書・功績調書・在職年数調書
- 資料9 弘前大学名誉教授称号授与規程新旧対照表
- 資料10 休職理由書・診断書
- 資料11 (様式1)
- 資料12 科学研究費補助金年度別申請・採択状況一覧
- 資料12-2 平成15年度教育改善推進費(学長裁量経費)執行額
- 資料12-3 平成15年度弘前大学教育研究全学協力基金事業実施報告
- 資料13 21世紀教育センター運営委員会報告要旨
- 資料14 教育・学生委員会(第2回)議事要録(案)
- 資料15 研究・施設マネジメント委員会報告
- 資料16 社会連携委員会報告

議事に先立ち、議長から、審議事項1及び2の審議に当たり、昆総務担当理事が陪席していること、また今回から永井監事が陪席している旨説明があった。

続いて、新委員の加藤陽治地域共同研究センター長及び片野孝保学術情報部長、新任(4月1日付け異動)の松井教務課長及び川村施設企画課長の紹介があった。

引き続き、4月13日開催の教育研究評議会議事要旨(案)の確認が行われ、4ページの(8)を「法令等に基づき、化学物質の管理を徹底するため、システム等を構築すること。」に修正の上、承認された。

審議事項

1 平成16年度年度計画(案)について

昆理事(評価室室長)から、資料1に基づき、概要について次のとおり説明があった。

(1) 配付資料の年度計画(案)は、5月10日現在のものである。評価室の役目としては、

年度計画（案）作成のための基礎的資料を各学部等から提出してもらい、学長へ報告できるように取りまとめることである。

- (2) 取りまとめを行うために、文部科学省へ学部ごとに記載してもよいかどうか照会したところ、1年後の評価の際に、評価ができないような表現や、責任が不明確な記載は好ましくない旨の回答を得ている。
- (3) このことを踏まえ、資料の1ページ目に記載のとおり、取りまとめの方針として、全学的な視点からのもの。しかし、学部等の具体性に差が生じることは必然的であるので、学部等の状況に即して、積極的な特色のある取り組み等について、ピックアップする。平成16年度、具体的に実施するものを対象とし、単に「を検討する。」のようなものは取りあげない。また、平成16年度に具体的実施がなくても、平成17年度実施に向けての具体的な準備計画がある場合は対象とするとしたことを掲げている。
- (4) 以上の点を踏まえ、評価室全体で意見交換を行い、また、評価室の各部門でもそれぞれ検討して取りまとめた上、各学部等の意見を伺っているが、まとめ切れない部分もある。評価室で作成した原案を学長へ報告しているの、精査されたものが学長から示される予定であり、それを踏まえて各学部等の意見を聴き、取りまとめる予定である。
- (5) 最終的には、今月の25日、26日頃までに評価室で取りまとめた上、文部科学省へ提出する予定である。

報告後学長から、年度計画（案）については、今後分かりやすく箇条書にするなど全体的にバランスよく取りまとめたいと考えていること、「教育関係」については、12日中に学長の下で取りまとめの上、各学部等へ照会し内容の精査を依頼すること、「研究関係」等についても17日以降、各学部等へ照会する予定であることなど説明があった。また、18日には連絡調整会議を懇談会という形で開催し、さらに精査することにして旨説明があり、上記の日程等により年度計画（案）の作成作業を進めることとした。

2 教員の人事管理について

(1) 弘前大学教員人事に関する申合せ（案）について

昆理事から、資料2に基づき、趣旨、基本方針及び配置計画、退職予定者の補充手続、補充等計画書など、申合せ事項の内容等について説明があった。

続いて種々意見交換が行われた結果、当該申合せ（案）は、定年退職者、定年退職者以外の退職予定者の補充に限るものとし、昇任人事等に係る補充については別途必要な手続きを行うことが確認された上、了承され、経営協議会を経て役員会へ提案することとした。なお、承認されなかった補充等計画書の再提出については、1回に限ることとした。

(2) 弘前大学教員人事管理（案）について

昆理事から、資料3の「弘前大学教員人事管理（案）」は、上記申合せ（案）を分かりやすいように図に示したものである旨説明があり、了承され、経営協議会を経て役員会へ提案することとした。

3 21世紀教育関係事項について

(1) 21世紀教育センター規程の一部改正について

矢島21世紀教育センター長から、資料4に基づき、副センター長の増員、高等教育研究開発室の設置等に伴う改正内容等について説明があり、審議の結果、原案どおり了承され、役員会へ提案することとした。

(2) 21世紀教育センター高等教育研究開発室教員選考委員会に関する申合せ（案）について

矢島21世紀教育センター長から、資料5に基づき、高等教育研究開発室の教員選考委員会に係る申合せの内容等について説明があり、審議の結果、原案どおり承認され、役員会へ提案することとした。

続いて、当該申合せが了承されたことに伴い、教員選考作業を迅速に進めるため、第2第2号委員（2名）を選出することとし、投票の結果、丹野評議員、石堂評議員が選出された。

4 弘前大学名誉教授の称号授与について

平成16年3月末で退官された8名の元教授に対する弘前大学名誉教授の称号授与について、関係学部長から、それぞれ略歴、功績等の説明があり、審議の結果、平成16年4月1日付けで弘前大学名誉教授の称号を授与することが了承され、役員会へ提案することとした。名誉教授の称号を授与された元教授は、次のとおり。

渡邊 一夫	元教育学部教授
早川三野雄	元教育学部教授
菅原 和夫	元医学部教授
鈴木 唯司	元医学部教授
松木 明知	元医学部教授
佐藤 孜	元理工学部教授
卜藏 建治	元農学生命科学部教授
安藤 喜一	元農学生命科学部教授

報告事項

1 弘前大学名誉教授称号授与規程の一部改正について

総務部長から、資料9に基づき、名誉教授称号の授与手続きの見直しに伴い、「教育研究評議会の審議結果を踏まえた上で、役員会の議を経て、学長が授与する。」とした改正内容について報告があった。

2 教員人事

(1) 教員の休職について

医学部長から、資料10に基づき、附属病院 寺田一仁助手の休職について報告があり、了承された。（休職期間平成16年4月15日～平成16年5月21日）

(2) 教員の昇任について

医学部長から、資料11に基づき、医学部 鳴海俊治助手の講師昇任（16.5.1付け）について報告があった。

3 平成16年度科学研究費補助金の内定状況について

中澤理事から、資料12に基づき、平成16年度科学研究費補助金の内定状況について、次のとおり報告があった。

(1) 平成16年度の申請状況は、平成15年度の704件に比較して、申請件数が627件で、77件（約11%）の減となっている。また、採択件数が2件、採択額が114万円の減となっており、申請件数の減がそのまま反映された形となっている。

(2) 部局別では、昨年度に続き人文学部と教育学部が増えており、特に人文学部は、採択率も39%と高いものとなっている。また、農学生命科学部では、採択件数は減となっているが、高い採択率を維持している。

(3) 医学部・附属病院と理工学部では、高い申請率に対し採択率が低かった。

(4) 研究種目別では、初めて基盤研究（S）（医学部 兼子教授）が採択された。また、若手研究も50%を超える高い採択率となっているが、科研費のメインともいえる基盤研究（B）、同（C）や萌芽研究の採択率が低く、特に新規分については萌芽研究の7.2%をはじめ、全体で11.8%と非常に低いものとなっている。

(5) 各研究代表者においては、6月に通知される審査結果を分析し、次年度に向けて準備してもらいたい。

報告後、議長から、各学部等においては、申請件数を増加するよう平成17年度に向け努力願いたい旨要請があった。

4 平成15年度学長裁量経費について

議長から、資料12-2に基づき、教育研究プロジェクト経費（一般分）17件など、平成15年度における教育改善推進費（学長裁量経費）の執行状況について報告があった。

5 平成15年度弘前大学教育研究全学協力基金事業実施報告について

議長から、資料12-3に基づき、海外の大学の調査研究など平成15年度における教育研究全学協力基金事業の実施状況について報告があった。

6 委員会報告

(1) 21世紀教育センター運営委員会

矢島センター長から、資料13に基づき、4月22日開催の同委員会について、次の事項の概要説明があった。

平成16年度開講計画の変更

平成16年度前期開講時の対応

平成16年度北東北国立3大学単位互換（集中授業方式）による受入科目

21世紀教育センター運営委員会副委員長の選出

(2) 教育・学生委員会

大関理事（同委員会委員長）から、資料14に基づき、4月28日開催の同委員会について、次の事項の概要説明があった。

授業料免除の選考基準

日本学生支援機構奨学生の推薦選考基準

平成16年度弘前大学1日体験入学

(3) 研究・施設マネジメント委員会

中澤理事（同委員会委員長）から、資料15に基づき、4月28日開催の同委員会について、次の事項の概要説明があった。

弘前大学研究・施設マネジメント委員会運営内規（案）

弘前大学知的財産創出本部

弘前大学総合文化祭推進委員会委員の選出

施設マネジメントに係る規則（案）等の制定

文京地区駐車場の整備及び管理・運営

文京地区駐輪場の管理・運営

弘前大学出版会

(4) 社会連携委員会

久慈理事（同委員会委員長）から、資料16に基づき、4月16日開催の同委員会について、次の事項の概要説明があった。

副委員長の選出

委員の任期

社会連携委員会運営内規（案）

議事要旨

弘前大学東京事務所及び同分室の設置

各報告の後、議長から、概要次のとおり説明があった。

- (1) 平成16年度予算について、経営協議会において検討中であるが、6月分も暫定予算とすることを予定している。
- (2) 評価室、監査室及び人事苦情処理室の合同会議を5月19日(水)に開催することとしており、今後の方針等を話し合う予定である。
- (3) 法人化後1か月が経過したが、諸規則の修正、予算の執行、年度計画などに係る諸課題があるので、今後適切に対応して行きたい。

5 その他

議長から、次回の本評議会を次のとおり開催する旨説明があった。

次回 6月 8日(火) 13時30分から

以 上